

広報はだの3月1日号に関するアンケート

作成日：令和6年3月15日

回答数	47
-----	----

問1 携帯トイレの備蓄をしていますか。

項目	している	していない
回答数	31	16

問2 非常食や衛生用品などの備蓄をしていますか。

項目	している	していない
回答数	39	8

問3 災害が起きた時に備え、家族や身近な人と安否確認方法や避難場所について話し合っていますか。

項目	話し合っている	話し合っていない
回答数	40	7

問4 広報はだのを読んで、ご意見がありましたらお聞かせください。

- ・特に能登の地震特集は、とてもリアルな内容でした。秦野市の職員の方も、沢山応援に行かれたのですね。広報を通して、そのような活動を知るきっかけになったと同時に、同じ市民として誇りに思いました。お疲れ様でした。
- ・災害時、どうなるか、どうするか、家族、地域でもっと考える必要があると感じます。心のどこかに、助けてもらえる、どうにかなる、どうにかしてもらえんって思いが、どこかにある人が多い気がする。
- ・能登地震は私達にとって、また大きく考える機会になった。
- ・能登半島地震のような規模が秦野にも来た時に私達もそうだが、市役所もしっかり動けるか心配。
- ・能登半島の被災地は早く復旧してほしい。その為に秦野市も支援しているみたいで、持ちつ持たれつの関係になってほしい。市の職員も行っているみたいだから、被災地の話を自治会とかに伝えてほしい。
- ・去年もそうだったが、広報の訂正がひどい。今回に至っては場所。その話し合いをし終わっていなかったのか。
- ・高速道路を上空から見てみたかったのに、何でヘリの場所が変わったのか。無駄に期待度を高めてほしくない。
- ・ヘリの発着場所の変更は残念。桜だけじゃなくて高速を上から見てみたかったし、工事前のサービスエリアにも入りたかった。何で広報までしたのにこんな事になったのか。広報した後に訂正はややこしくて困る。
- ・備えたほうが、いいと思った
- ・秦野市は震災を知っている人がいない。地域や市役所が連携するにも、震災を知らないと思えづらい。是非、防災課主催で報告してほしい。
- ・編集期間後に場所の変更なんて、言語道断。広報広聴課は、広報紙を舐めているとしか思えない。
- ・市政懇談会で各地区に報告してほしい。私達もどんな備えをすればいいか詳しく知りたい。

- 広報はだの掲載ミスがひど過ぎる。今回に至っては、重要な場所に関わる掲載なのに、それを誤るといのは…市役所職員のレベルが低くなっている。管理職は一体何をやっているのか。しかも、掲載ミスのお知らせはホームページだけなんて…優しくない市役所にもなってしまった。
- 能登半島地震のような規模がいつか関東でも起こる。その時にパニックに陥りたくない。どうすれば良いのか、今何を為すべきなのか、秦野市役所の見解を示してほしい。
- 能登半島地震に学ぶとしつつ、東日本地震の黙祷放送がなかった…。
- 幾つか申し上げますと、まず、能登半島地震の支援はご苦労様です。こうやって支えて支えられて、地域は回っていきます。いつか秦野市が被災した時に支援をお願いする為にも必要な事だと思います。是非共私達市民に支援をした時の様子や今から出来る準備内容を教えて欲しいです。次に、東日本大震災時の黙祷の放送がなかったのは、秦野市役所として大失態だったのでは。細々とかもしれないが、ああいう事をする事で人々は忘れないでいられる。逆を言えば、ああいう事をしなかったら人々は忘れるかもしれない。絶対にないようにしてほしい。

○性別

項目	男性	女性
回答数	38	9

○年齢

項目	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
回答数	1	0	5	7	23	6	5